

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	1	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者軽度生活援助事業	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月30日	
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子	シート作成者名	山田繁美			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり		実施計画	事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	(3) 予防給付・介護給付の実施		<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	阿波市軽度生活援助事業実施要綱					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	介護保険の対象外である65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、日常生活上の援助が必要な者									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	軽易な日常生活の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への移行を防止します。								
			今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 外出時の付き添い											
	② 食材、日用品などの買い物											
	③ 住居などの清掃											
	④ 調理											
	⑤ 衣類などの洗濯											
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標					
	利用者人数	年間の利用者延べ人数	人	目標	→	→	→					
				実績	176	271						
				目標								
				実績								
				目標								
実績												
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費		
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考						
		国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円							
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源	235 千円	294 千円	489 千円							
		一般財源	2,195 千円	2,740 千円	4,551 千円							
	計(A)	2,430 千円	3,034 千円	5,040 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	596 千円	0.134 人	788 千円	0.134 人	774 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)			3,026 千円		3,822 千円		5,814 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	高齢者等に援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にし、要介護状態への移行を防止するため必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	高齢者等に援助を行うことで、要介護状態への移行防止が有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	利用希望者(援助が必要と判断された方)について、援助できるよう対応できています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	委託料については介護報酬を基に算定しているため適当です。効率的に実施できています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
	当面の課題	申請者や問い合わせが少ないので、事業内容の周知及び啓発(該当者のうち未利用者)活動を行う必要があります。また、要支援1・2の者が介護給付から市町村事業への移行が想定されているため、そことあわせた制度の変更が必要な時期となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	高齢世帯を把握している民生委員に事業内容の周知を行い、該当者について生活支援を促進します。					高齢者の要介護状態への移行を予防するため、日常生活支援を行い、事業内容についても周知等により、支援を必要とする高齢者の利用の促進を行っていきます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	2	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者緊急通報体制等整備事業	公的関与	4	シート作成日	平成26年6月30日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	山田繁美			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3) 予防給付・介護給付の実施				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市緊急通報装置貸与事業実施要綱		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者で、近隣に扶養義務者がなく緊急連絡を行う必要があると認められる者及び外出困難な重度の身体障害者で緊急連絡などの手段として装置の必要があると認められる者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	ひとり暮らしの高齢者及び重度身体障害者に対して緊急通報装置を貸与し、関係機関及び地域住民の協力を得て緊急連絡などを確保する事業を行うことにより、ひとり暮らしの高齢者等の不安が解消できるとともに福祉の向上が図れます									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 緊急通報装置(本体+ペンダント)の貸与または給付します。													
	② 通報を24時間受信し、必要な処置を講ずるとともに親族等に連絡し、その旨を阿波市、関係機関に連絡します。													
	③ 必要に応じてテスト通報(試し押し)を行います。													
	④ 利用者からの相談にきめ細やかに対応します。(看護師、ヘルパーなどの資格を持った者が対応)													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標		
	装置設置(概設)		総設置台数		台	目標		200		200		200		→
						実績		174		163				
	装置設置(新設)		設置台数(月)×12ヶ月		台	目標		20		20		20		
						実績		19		14				
						目標								
						実績								
	予算費目													
会計 一般会計 款 3 民生費 項 3 老人福祉費 目 1 老人福祉総務費														
DO			平成 24 年度決算			平成 25 年度決算			平成 26 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源		3,265 千円		3,009 千円		3,511 千円						
		計(A)		3,265 千円		3,009 千円		3,511 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.088 人 525 千円		0.088 人 518 千円		0.088 人 508 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円						
全体事業費(A+B)		3,790 千円		3,527 千円		4,019 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	少ない	大きい	ひとり暮らしの高齢者等の緊急通報手段として装置設置が必要です。	少ない	大きい	少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の緊急通報手段として装置設置が必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の不安解消と福祉の向上対策に有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	利用希望者のうち対象者となる方には装置の設置ができています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	近隣において、事業を実施する業者がなく見積書による契約のため、今後契約方法などの協議によりコスト削減の余地があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	平成25年度末の緊急通報装置の設置台数は163台ですが、現在製造されていない機種(ER-50型以外)が24%あるため、古い機種より交換をしていく必要があります。SL機については耐用年数が7年ですが、導入より17年が経過しており交換時期が過ぎています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	SL機については、電池交換時期に新しい機種へ交換をお願いしていきます。					65歳以上のひとり暮らし等の方が安心して生活でき、又、不安の解消の為、装置が必要な方には、緊急通報の整備を今後も継続して実施していきます。又、旧SL機についても年次的に交換が必要です。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	19	—	3	基本事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日	
部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	郡久美子		シート作成者名	東城恭子		
事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
	<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
	基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	主要施策	(3) 予防給付・介護給付の実施		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法					
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	介護保険における予防給付の対象となる要支援者										
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	対象者の心身の状況、環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成とともに、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行い、適切な介護予防サービス等の提供を行うことにより、対象者の心身の状態の改善を図り要介護状態となることを予防します。									
		今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 地域包括支援センターの専門職の確保と指定居宅介護支援事業所への委託により、要支援者が利用する介護予防サービス計画を作成します。											
	② 介護予防サービス事業者等への関係機関との連絡調整を行います。											
	③ 指定居宅介護支援事業所へ委託している予防給付のケアマネジメント業務については、適切な介護予防サービス計画の立案ができていないか確認をおこないます。											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を 測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標				
	介護予防プラン	介護予防プラン作成(月)×1 2ヶ月	件	目標	6000	6000	6000	↓				
				実績	5322	4551						
				目標								
				実績								
				目標								
実績												
予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	2 老人福祉費	目	4 介護予防支援事業			
直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	人件費のうち、嘱託職種(嘱託介護支援専門員10名分)については直接事業費に含まれています。また、H26より専門職確保のため職種替えのため2名減となっています。※なおH25決算にはシステム導入委託料等が含まれているため増となっています。							
	県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源	22,556 千円	19,230 千円	21,484 千円								
	一般財源	2,231 千円	8,206 千円	6,532 千円								
	計(A)	24,787 千円	27,436 千円	28,016 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	2,510 人 14,963 千円	2,510 人 14,763 千円	2,510 人 14,494 千円								
	臨時・嘱託職種	介護支援専門員		介護支援専門員	介護支援専門員							
	臨時・嘱託工数・経費	10,000 人 19,800 千円	10,000 人 19,800 千円	8,000 人 15,840 千円								
全体事業費(A+B)	59,550 千円		61,999 千円		58,350 千円							

PLAN

DO

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	介護予防サービスを受けるのには、介護予防サービス計画作成が必要です。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要支援認定者ごとに計画作成するため、各要支援認定者に応じたサービスが受けられ有効です。より自立に向けた質の高い計画作成に努めていくことが必要です。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	要支援の状態に応じた計画が概ね作成されていますが、介護度の改善は難しい状態です。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している					<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	現状の体制では計画作成がほぼ効率的にできていると思われます。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	介護予防支援業務の一部は指定居宅介護支援事業者に委託して実施していますが、安定した介護予防支援業務を行っていくためには、嘱託介護支援専門員の確保が重要となっています。これにより高齢者の自立支援に向けた質の高い介護予防支援業務を提供していくことが可能となります。なお介護保険制度の改正によって要支援給付が大きく見直されるため、数年後には財源確保も含めた大きな変更が必要となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	包括で事業を継続していくには、正規職員のみでは対応できません。そのため今後も専門職員(嘱託)の人員確保と資質の向上を図り、各事業所との連携により事業の推進を行っていきます。なお法改正については、今後の情報等を踏まえ必要な方へのサービス低下に繋がらないような体制づくりを考慮し進めます。					介護保険制度で居宅における介護予防支援が重要視され、地域包括支援センターの役割として、介護予防支援事業で介護予防プラン作成等が定められています。次年度も高齢者の介護予防に努め、適切な介護予防を行うことにより改善へつなげられるようを検討します。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	4	基本事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	山田繁美				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1) 高齢者サービス提供体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法・阿波市地域包括支援センター運営協議会設置要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者・職能団体等、介護サービス及び介護予防サービス利用者・介護保険の被保険者、介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護又は相談業務等を担う関係者、地域ケアに関する学識経験者を有する者、別に定める職にある職員											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	介護保険法に定める地域包括支援センターの公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図ります。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 地域包括支援センターの設置等に関する事項の承認に関することを行います。														
	② 地域包括支援センターの運営・評価に関することを行います。														
	③ 地域包括支援センターの職員確保に関することを行います。														
	④ その他地域包括支援センターに関することを行います。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標			
	運営協議会の開催数	年2回程度				回	2		2		2		2		
						目標									
						実績	2		2						
						目標									
						実績									
				目標											
				実績											
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1 総務費		項	1 総務管理費		目	1 一般管理費	
				平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金		0 千円		0 千円		0 千円							
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源		167 千円		157 千円		265 千円							
		計(A)		167 千円		157 千円		265 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.021 人	125 千円	0.021 人	124 千円	0.021 人	121 千円						
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)			292 千円		281 千円		386 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	平成18年度介護保険制度の改正により地域包括支援センターが創設されたものであり、その公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図る上で運営協議会は必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	協議会を開催することによって、地域包括支援センターの運営向上につながっていきます。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	高齢化が進む中で、地域包括支援センターに対するニーズが確実に増えている内容について、協議会での報告審議で役割は達成されています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	地域包括支援センターを設置する市町村は、運営協議会の設置が義務付けられており、運営協議会の構成員については、幅広く各層から選定しています。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	健康福祉部内にある各種協議会・委員会等の構成員が一部重複しているため、各委員の参集に対して開催日の調整等に気をつけています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	介護保険制度の各種協議会については制度上必要な協議会であり、構成員等を選定する際に考慮し、可能な限り同日開催ができるよう調整していきます。					阿波市では、地域包括支援センターの運営については、直営方式により公平性が確保されています。 地域包括支援センターの活動方針等については、今後も運営協議会で審議をかさね、公正で中立性を維持し、運営向上を図ります。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	5	基本事務事業名	二次予防事業	事務事業名	二次予防事業の対象者把握事業	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子	シート作成者名	河野充宏					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり					実施計画	事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 18 年 ~ 平成 26 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進					<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	介護認定を受けていない65歳以上の高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	二次予防事業の対象者が要介護状態等となることを予防します。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方に介護予防基本チェックリストを提出してもらいます。														
	② チェックリストで生活機能低下がみられた方に、連絡し介護予防プログラムを勧奨する。														
	③ 介護予防プログラム参加希望の方に対し、「プログラム参加に係るチェックシート」により、医師の判断が必要かどうか判定する。														
	④ 医師の判定が必要な方には、受診券を送付し、介護予防事業の利用が適当かどうか判定してもらう。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標							
	二次予防事業の年間参加者数	65歳以上高齢者人口×5%	人	目標	572	588	→	→							
				実績	128	106									
					目標										
					実績										
					目標										
実績															
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業	項	1	介護予防事業	目	1	二次予防事業
			平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	216 千円	272 千円	99 千円										
		県支出金	108 千円	136 千円	48 千円										
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円										
		その他特定財源	432 千円	680 千円	247 千円										
		一般財源	108 千円	0 千円	0 千円										
		計(A)	864 千円	1,088 千円	394 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.758 人	4,519 千円	0.758 人	4,458 千円	0.228 人	1,317 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		5,383 千円	5,546 千円	1,711 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	国の施策であります。要介護状態等となる恐れの高い状態にある高齢者が、要介護状態等となることを予防する方法として必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	生活機能低下がみられる高齢者の早期発見、生活習慣の改善や、介護予防につなげる手段として有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	生活機能評価を受けて、生活機能低下がみられる高齢者の該当となっても、介護予防プログラムの利用につながった方が少なかったです。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	平成25年度は、土成町・吉野町の方に対して郵送でチェックリストの回収を行いました。予防事業参加の勧奨を手紙や電話でしたが、介護予防プログラムの利用希望者が少なかったです。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
平成26年度から国の方針変更により、基本チェックリストによる対象者把握として市内全戸配布をする必要性が見直された。そのため、本当に予防が必要とされる方の把握が今後難しくなる。					介護予防の観点から、現在要介護状態等以外の65歳以上の対象者に、必要に応じて基本チェックリストの確認を行う。今後の法改正の状況を踏まえながら、二次予防事業対象者への対応を今後も継続し、生活機能評価の必要性を理解してもらいながら早期予防に努めていきます。								
改革案と実行計画	チェックリスト全戸配布等による対象者把握の重要度が下がった。そのため平成26年度は、広報紙での基本チェックリスト掲載による周知にあわせ、介護認定非該当者および市単独事業の利用申請者等に対する調査実施に重点を置くこととします。												
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	6	基本事務事業名	二次予防事業		事務事業名	通所型介護予防(運動器の機能向上等)事業		公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	郡久美子		シート作成者名	山口由美子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり					実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進					<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上の者で、介護予防基本チェックリストにより、生活機能の低下がみられた方(二次予防事業対象者)													
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	通所介護予防事業を利用することで、運動習慣を身につけ、心身の状態を改善し、要介護状態となることを予防します。												
			今年度													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 通所介護予防事業(運動器の機能向上プログラム等を個別計画に基づき実施)を市内事業所に委託します。															
	② 集団体操教室(しゃんしゃん体操)を実施します。															
	③															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標								
	通所型介護予防事業 利用者	通所型介護予防事業の利用者 数	人	目標	↑	↑	↑	↑								
				実績		32	20									
				目標												
				実績												
				目標												
実績																
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	1	介護予防特定高齢者施策事業費			
			平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金	292 千円	387 千円	782 千円											
		県支出金	146 千円	194 千円	392 千円											
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円											
		その他特定財源	585 千円	400 千円	1,958 千円											
		一般財源	146 千円	0 千円	0 千円											
		計(A)	1,169 千円	981 千円	3,132 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.404 人	2,408 千円	0.404 人	2,376 千円	0.155 人	895 千円								
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)			3,577 千円		3,357 千円		4,027 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	自身の生活機能状態を確認し、生活機能低下がみられる方に対して、通所型の予防事業を利用することで、心身の状態を改善し、要介護状態となることを予防していくため、必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	事業所等に委託し、個別のサービス支援計画に基づき、運動器の機能向上等を図ることができます。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	昨年度に比べ二次予防事業対象者は減少傾向であり、対象者数に対して、予防事業への参加も少なく、成果があまり上がっていない状況です。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> 概ね達成している	<input type="radio"/> 概ね達成している	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 十分達成している	<input type="radio"/> 十分達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している					
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	事業所等に委託して予防事業を実施していますが、利用者の自主的な介護予防や運動習慣の確立までには至っていません。		<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 1	効率性 2	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 2	総合評価 B	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	直営(無料)で行う集団教室と委託(有料)で行う運動の教室を開催しているが、該当者への意識づけが難しく、なかなか参加までには至らなかった。また委託先の事業所で要介護認定者との区別がつかない人もおり、同様のサービスを求める人もいるので、ライン引きを明確にし、目標達成に向けての意識を持ってもらえる支援が必要である。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	運動器の機能向上プログラムの目的を再確認し、事業のときは事業所内で要介護認定者と区別ができる環境を整備していけるように検討します。また直営での運動教室の周知も行い、参加者に興味を持ってもらえるような内容を検討していきます。					要介護者等以外の二次予防事業対象者を対象に、生活機能低下の改善を目的に、計画に基づき、運動器の機能向上事業等を今後も継続するとともに、未利用者について、介護予防対策事業として利用促進していきます。					
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	7	基本事務事業名	一次予防事業		事務事業名	介護予防普及啓発事業		公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	郡久美子		シート作成者名	坂東めぐみ				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり					実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	18	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進					<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上のすべての高齢者													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	高齢者に対して、健康教育・健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発や地域の自発的な介護予防に資する活動の育成・支援を行い、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指していきます。												
			今年度	サロンを増やすことで、自助・共助できるような地域づくりを行い、また阿波市の要介護状態に至る原因や実態を市民に普及啓発することで、介護予防を住民自らが取り組むめることを目指していきます。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 介護予防普及啓発事業(講演会、出前講座、高齢者健康講座等)を行います。															
	② 地域介護予防活動支援事業(ボランティア等の人材を育成するための研修、地域活動組織の育成・支援等)を行います。															
	③ 一次予防事業評価事業(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行い、その結果に基づき事業の改善を図る)を行います。															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標								
	講演・相談会の開催数	月2回×12ヶ月	回	目標	30	30	30	30								
				実績	25	33										
	ボランティア育成のための研修会の開催数	年5回	回	目標	8	5	5	5								
				実績	10	5										
	地域活動組織の育成・支援(サロン)	月2回×6ヶ月×4か所	回	目標	-	10	50	50								
実績				26	7											
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	2	一次予防事業費			
			平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金	147	千円	81	千円	312	千円								
		県支出金	73	千円	41	千円	156	千円								
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円								
		その他特定財源	298	千円	202	千円	779	千円								
		一般財源	73	千円	0	千円	0	千円								
		計(A)	591	千円	324	千円	1,247	千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400	人	2,384	千円	0.400	人	2,353	千円	0.400	人	2,310	千円		
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円			
全体事業費(A+B)		2,975	千円	2,677	千円	3,557	千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	阿波市の実態として、糖尿病や肥満等の生活習慣病が、透析、脳血管疾患、認知症等の重症化へ繋がることで、要介護状態になっている背景が大きい。阿波市における介護予防の優先順位として、住民にこの実態を伝え、自身の疾病管理をしてもらう必要性が高い。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	年齢が高くなるにつれ、病気の予防、疾病管理は難しい。若い年齢に優先順位を置き、特定健診等のデータに沿った保健指導が必要だが、包括が関われる対象数が限られるという課題がある。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	事業回数や参加人数の目標設定は達成できているが、実際の生活習慣病等予防可能な疾患で、介護になる人が減少しているかという評価分析ができていないため、今後、認定原因の分析、評価を行っていく。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	サロン等、地域活動組織の育成・支援については、高齢者の閉じこもり予防等に対して、効率性は高いと思われるが、まだまだ高齢者数に対して不十分なため、場所を増やす必要がある。26年度は、社会福祉協議会に市内4か所のサロンの立ち上げを委託する。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止
	当面の課題	予防と福祉、どちらに優先順位を置くかが課題。認知症等の増加に伴い、認知症の人を支える地域づくりという意味で、認知症に対する知識の普及啓発も必要だが、認知症の原因には、生活習慣病との関連が強いため、生活習慣病等の重症化対策についても包括が関わる対象者に対して取り組む必要性がある。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	介護認定を受けている65歳以上の認知症の高齢者の割合が、全国は9.6%に対して、阿波市は13.3%と高い。対策を考える上で、予防と地域づくり、両方の視点で取り組んでいく。					65歳以上の高齢者に対して、要介護状態に至っている原因や実態を、健康教育、健康相談等を通じて周知することで「介護予防」に対する取り組みの支援を継続していきます。					
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	8	基本事務事業名	包括的支援事業	事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業	公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	山口由美子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり				実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当	平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	二次予防事業対象者で、予防事業を利用するために生活機能評価チェックシートをつけて6.5点以上となった者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	二次予防事業対象者等の心身の状況、置かれている環境等に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等の適切な事業が、包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行い、要介護状態となることを予防していきます。											
			今年度	生活機能の改善が実現できるように、目標志向にあった介護予防サービス等が包括的かつ効率的に提供できるよう支援していきます。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 課題分析(アセスメント)の実施														
	② 目標の設定														
	③ 介護予防ケアプランの作成														
	④ モニタリングの実施														
	⑤ 評価														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標							
	介護予防ケアプランの作成	二次予防事業利用者の介護予防プランの作成の件数は表示設定	件	目標	→	→	→	→							
				実績		2	37								
	介護予防ケアプランの評価	二次予防事業利用者でプラン修了者	回	目標	→	→	→	→							
				実績		2	37								
	介護予防支援目標の作成	二次予防事業利用者	件	目標	28	28	→	→							
実績					26	37									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	1	介護予防ケアマネジメント事業費
	直接事業費		平成	24	年度決算	平成	25	年度決算	平成	26	年度予算	備考			
		国庫支出金			3,842	千円			4,363	千円			4,632	千円	直接事業費に人件費(H25:3名・12,681千円)が含まれていません。
		県支出金			1,921	千円			2,182	千円			2,317	千円	
		地方債			0	千円			0	千円			0	千円	
		その他特定財源			2,043	千円			6,137	千円			6,738	千円	
		一般財源			4,470	千円			0	千円			0	千円	
		計(A)			12,276	千円			12,682	千円			13,687	千円	
	人件費(B)														
	正職員工数・経費	0.082	人	489	千円	0.082	人	482	千円	0.082	人	473	千円		
	臨時・嘱託職種														
	臨時・嘱託工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
	全体事業費(A+B)			12,765	千円			13,164	千円			14,160	千円		

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	二次予防事業対象者に対して、地域支援事業を利用するためのケアマネジメントを行うために必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	支援計画に基づくサービス提供が確保されるよう、利用者や家族、事業者等との調整をし、対象者の身体機能レベルの改善が図れ有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	対象者は限られていますが、対象者についてのケアマネジメント評価は概ね適切に実施されています。しかし、サービス終了後の介護予防習慣の確立までには至っていない状況です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	介護予防ケアプランに基づき、介護予防事業を実施し、事後のアセスメントと介護予防プランの見直し・評価を行い、二次予防事業対象者が要介護状態になるのを予防する効果があります。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	対象者の日常生活の状況把握や、日常生活の状況、生活機能低下の原因や背景を分析し、対象者に応じたケアマネジメントを行います。チェックシートの得点では、非該当でも支援が必要と判断される者には、プランを作成していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	生活機能評価の低下について、対象者の自覚を促すとともに、介護予防に取り組む意欲を引き出し、インフォーマルなサービスを取り入れながら、事業終了後の介護予防習慣の確立に努めます。					二次予防事業対象者及び要支援者が要介護状態等にならないよう、専門職員等が日常生活の状況、生活機能低下の原因等を分析し、対象者に介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、介護予防の支援の拡充を行っていきます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	9	基本事務事業名	包括的支援事業	事務事業名	総合相談事業	公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子	シート作成者名	和田真由美					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法			<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他				<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり				実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上すべての高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	高齢者や家族関係者などから相談を受けて、高齢者の心身の状況、生活状況に必要な支援の把握をして、地域における関係者とのネットワークを構築し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるように適切なサービス指導や制度につなげて継続的専門的な相談支援を行っていきます。											
			今年度	特に独居、高齢者世帯、住民から情報のあったケースについて、情報の収集、個別訪問や相談をし、実態把握をします。関係機関との連携強化と地域におけるネットワークの充実を図っていきます。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 地域におけるネットワークの構築														
	② 高齢者の実態把握														
	③ 総合相談支援														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標				
					目標	450	450	450	450						
	相談件数	総合相談延件数		件		実績	484	663							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	2	総合相談事業費
	直接事業費			平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
		国庫支出金		3,047	千円	2,453	千円	2,622	千円	直接事業費に人件費(H25:1名・7,727千円)が含まれています。					
		県支出金		1,523	千円	1,227	千円	1,311	千円	※嘱託職員の職種は選択項目がないため、近似金額の介護支援専門員を選択。 (正確には社会福祉士)					
		地方債		0	千円	0	千円	0	千円						
		その他特定財源		1,621	千円	4,102	千円	6,382	千円						
		一般財源		3,077	千円	0	千円	0	千円						
	計(A)		9,268	千円	7,782	千円	10,315	千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.833	人	4,966	千円	0.833	人	4,899	千円	0.833	人	4,810	千円	
		臨時・嘱託職種	介護支援専門員												
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	1.000	人	1,980	千円		
全体事業費(A+B)			14,234	千円	12,681	千円	17,105	千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	いろいろな援護を必要とする高齢者の増加から、その方や家族への支援は必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	相談を受け、地域における適切なサービスや制度につなげ、適正な利用を進めることは有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	総合相談支援をすることにより、地域の高齢者が不安解消でき安心して生活を継続できます。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	相談内容に即したサービス又は制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を行うことにより効率的に支援できます。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	独居や高齢者世帯も増加し、家族の支援が全くない方や、経済的困窮者と精神疾患および認知症など的高齢者が増加しており、介護サービスだけでは支えきれないケースが増えています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	地域ケア会議を開催し、地域での課題把握や解決につなげ、高齢者との社会資源、地域の社会資源同士をつなぐネットワークを形成していきます。					65歳以上の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるよう、総合相談事業を実施し、高齢者の状況に応じた地域におけるネットワーク(医療機関、各事業所等)の適切なサービスや利用紹介をします。また、認知症高齢者等の継続的な相談支援体制を構築していきます。					
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	10	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	権利擁護事業		公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	郡久美子		シート作成者名	和田真由美				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり					実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進					<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上すべての高齢者													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	社会福祉の援助を必要としている人々の生活を擁護するため、成年後見制度や権利擁護に関する事業を行い地域において尊厳ある生活を構築し、安心して自立生活を行うことができるようにします。												
			今年度	権利擁護に関する相談に対応するために情報の提供や成年後見制度の利用支援を行います。虐待の早期発見のため関係者のネットワーク構築の充実を目指していきます。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 成年後見制度の活用促進															
	② 老人福祉施設への措置の支援															
	③ 高齢者虐待への対応															
	④ 困難事例の対応															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標				
	成年後見権利擁護に関する相談件数	1年間の相談延件数		件	目標	10		10		10						
					実績	29		20								
	住民及び関係者への啓発活動	6ヶ月に1回		回	目標	2		2		2						
					実績	6		4								
	関係機関への研修会	6ヶ月に1回		回	目標	2		2		2						
					実績	1		1								
	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	3 権利擁護事業費			
直接事業費	平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考									
	国庫支出金	22 千円		20 千円		54 千円										
	県支出金	11 千円		10 千円		28 千円										
	地方債	千円		0 千円		0 千円										
	その他特定財源	13 千円		21 千円		57 千円										
	一般財源	11 千円		0 千円		0 千円										
	計(A)	57 千円		51 千円		139 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.125 人	745 千円		0.125 人	735 千円		0.125 人	722 千円							
	臨時・嘱託職種															
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		802 千円		786 千円		861 千円										
DO																

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	成年後見制度等の権利擁護を目的とするサービスや制度を活用し、適切な支援を提供するとともに、高齢者虐待の早期発見・早期対応を行うことは、高齢者の生活を維持するために必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	民生委員、施設、サービス関係者などの対応だけでは問題解決できない困難な場合に、専門的、継続的な観点から高齢者の権利擁護を支援することで地域において安心して生活を維持するのに有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	制度が必要な高齢者は存在するが、利用するには費用等、問題があります。しかし、地域で安心して暮らしていくためにはこの制度は必要であり、事業を継続します。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している						
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	現状においては、問題解決できない事例について、行政が事業として携わることが効率的であると思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利を擁護するため成年後見制度等権利擁護に関する事業を進めます。このためには、法人後見、市民後見の普及啓発が必要です。高齢者虐待予防のため、普及啓発や相談体制の確立、適切な支援につなげる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	1. 本人や家族に必要なことや手続きについて説明し、申し立てにつなげていきます。 2. 市民を対象に成年後見制度等の講演会開催の検討をしていきます。					65歳以上の高齢者で財産管理や契約行為が必要になった方に、成年後見制度及び日常生活自立支援事業の制度に基づき、今後も相談対応を行っていきます。高齢者の各会合や研修会を利用し、パンフレット等を配布して制度の周知・啓発を図っていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	11	基本事務事業名	包括的支援事業	事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	公的関与	1	シート作成日	平成26年6月30日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	東城恭子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者及び関係者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	主治医、ケアマネジャー、各関係機関の連携を促進することにより指導助言等を行い、包括的・継続的にケアマネジメントを実践することで、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援していきます。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 包括的・継続的ケア体制の構築													
	② 地域における介護支援専門員のネットワークの活用													
	③ 日常的個別指導・相談													
	④ 支援困難事例等への指導・助言													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標		
	ケアマネからの相談件数		年間の相談件数		件	目標	50		50		50		50	
						実績	250		270					
	介護支援専門員連絡会		6ヶ月に1回		回	目標	6		6		6		6	
						実績	6		6					
	事業所・連絡会		年に1回		回	目標	1		1		1		1	
						実績	1		1					
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	4 包括的・継続的ケアマネジメント事業費	
			平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	2,351 千円		2,887 千円		2,551 千円		直接事業費に人件費(H25:1名・7,853千円)が含まれています。 ※嘱託職員の職種は選択項目がないため、近似金額の介護支援専門員を選択。 (正確には主任介護支援専門員)					
		県支出金	1,175 千円		1,443 千円		1,276 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	1,251 千円		3,746 千円		6,835 千円							
		一般財源	3,328 千円		0 千円		0 千円							
		計(A)	8,105 千円		8,076 千円		10,662 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,981 千円		0.500 人	2,941 千円		0.500 人	2,887 千円				
		臨時・嘱託職種	介護支援専門員											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		1.000 人	1,980 千円					
全体事業費(A+B)		11,086 千円		11,017 千円		15,529 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価			
							少ない	大きい					少ない	大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	在宅・施設を通じて地域における包括的・継続的なケアを実施するため、医療機関を含めた関係機関との体制連携を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるシステム作りが必要です。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	在宅と施設の連携など、地域において、多種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて包括的・継続的にケアが提供され有効です。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域包括支援センターで実施する事業(介護予防支援、ケアマネジメント等)と関係機関の連携によりケア体制の構築が概ね図られています。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各関係機関の連携促進、支援、研修会等を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができ、事業効率が高いと思われます。				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
ACTION	一次評価					二次評価										
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A					
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等						
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止							
	当面の課題	民生委員や医療機関等、それぞれの関係機関との連携は取れてきていますが、早期に対応できるネットワークの構築が必要です。また、地域で高齢者を支えるために、地域包括ケアシステムの構築を図っていくことが重要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点									
改革案と実行計画	医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の事業所等と高齢者との連携・インフォーマルサービスとの連携体制などの整備を図ります。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができるように、地域包括支援センターを中心に医療機関を含めた介護事業所等の関係機関と連携体系を構築し、今後も包括的・継続的ケアマネジメント事業を継続・拡充していきます。										
委員会指摘事項																

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

No.	19	—	12	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	家族介護継続支援(介護用品支給)事業	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月30日			
部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	河野充宏				
事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
	<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等							
総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり			実施計画	事業の開始・終了								
	基本計画(施策)	(4) 高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
	主要施策	(2) 介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法							
事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	在宅で要介護認定者を介護している家族(要介護4又は5、要介護者・介護者世帯ともに市民税非課税世帯)												
	目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	紙おむつなどの介護用品を支給することにより、要介護者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ります。											
		今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 介護用品(紙おむつ、尿取りパッド)の支給(市民税非課税世帯)													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標						
	介護用品支給対象者	年間の介護用品支給対象者数	人	目標	↑	↑	↑	↑						
				実績	25	26								
	介護用品支給対象者	年間の利用延人数	人	目標	↑	↑	↑	↑						
				実績	274	269								
				目標										
			実績											
D O	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業費
			平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	655 千円	634 千円	1,037 千円									
		県支出金	327 千円	317 千円	518 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	348 千円	653 千円	1,070 千円									
		一般財源	327 千円	0 千円	0 千円									
		計(A)	1,657 千円	1,604 千円	2,625 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.140 人 835 千円	0.140 人 823 千円	0.140 人 808 千円									
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
	全体事業費(A+B)		2,492 千円	2,427 千円	3,433 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより負担軽減が図られるため必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上ができて有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	申請者(該当者)について、概ね支給対応できています。ただし、該当者のうち一部の未申請者についての周知が必要です。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	在宅で要介護者を介護している家族の負担軽減を図ることにより、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ることができます。効率的に実施されています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
	当面の課題	毎年新規利用申請がありますが、利用者数は安定しています。広報誌等による事業内容の周知を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	介護支援専門員連絡会などで、居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行い、該当者への連絡申請を促します。					要介護者(要介護4・5)を介護している家族との在宅生活を継続可能にする施策として、低所得者世帯(市民税非課税)の支援事業として今後も事業を継続していきます。未利用者の該当者についても周知を行い利用促進を図ります。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	13	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	その他の事業(住宅改修支援事業)	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡久美子		シート作成者名	河野充宏				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	18	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		居宅サービス計画の作成をする介護支援専門員がいない要介護者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書の作成及び作成した場合の経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活が送れるように支援します。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由がわかる書類を作成した場合の経費の助成														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標					
	住宅改修の理由書作成件数		年間の理由書作成経費助成件数		件	目標	→	→	→	→					
						実績	3	4							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業費	
			平成	24	年度決算	平成	25	年度決算	平成	26	年度予算	備考			
	直接事業費	国庫支出金	2 千円		3 千円		4 千円								
		県支出金	1 千円		2 千円		2 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	1 千円		3 千円		4 千円								
		一般財源	1 千円		0 千円		0 千円								
		計(A)	6 千円		8 千円		10 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.004 人	24 千円		0.004 人	24 千円		0.004 人	23 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		30 千円		32 千円		33 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護認定者が自立した日常生活を送れるよう支援するため必要です		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護者の負担軽減が図れます。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護認定者の地域における自立した日常生活の継続が可能になります。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	他の実施主体を活用するには今以上のコストがかかります。現在の方法で効率的に実施できています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
	当面の課題	要介護認定者を支援する事業として、今後も必要な要介護者に対して継続するとともに、居宅介護支援事業所へ事業内容を周知していきます。また高額な改修費用を請求してくる業者に対する対応も最近必要となってきています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知および不正業者に対する注意喚起を行います。					地域支援事業の中で任意事業として、該当者は少数であるが、地域における自立した日常生活を支援する施策として制度上必要なため継続していきます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成25年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	14	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	その他の事業(成年後見制度利用支援事業)	公的関与	5	シート作成日	平成26年6月30日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	郡 久美子		シート作成者名	和田真由美				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		成年後見制度の申立をする者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申立に要する経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活の支援を行います。										
				今年度	低所得者の高齢者に係る成年後見制度の支援や申し立てに関する経費の助成を行うことにより、地域で高齢者が安心して自立した日常生活ができるよう支援する。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 成年後見制度の申立に要する経費の助成を行います。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		最終目標			
	制度の申立申請件数		年間の申請件数		件	目標 →		→		→					
						実績 1		1							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	5 任意事業費	
			平成 24 年度決算			平成 25 年度決算			平成 26 年度予算			備考			
	直接事業費	国庫支出金	3 千円		24 千円		524 千円		※平成26年度より低所得者に該当する後見人への報酬助成を実施により予算増。						
		県支出金	1 千円		13 千円		262 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	4 千円		25 千円		541 千円								
		一般財源	1 千円		0 千円		0 千円								
		計(A)	9 千円		62 千円		1,327 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.002 人	12 千円		0.360 人	2,117 千円		0.360 人	2,079 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		21 千円		2,179 千円		3,406 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	成年後見制度の申立の支援や費用を助成することにより、高齢者等の日常生活の支援を行うため必要です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	成年後見制度の申立の支援や費用を助成することにより、該当者の負担軽減ができ有効です。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	必要な該当者については、概ね対応できていますが、他の業務が多く、対応に時間を要することがあります。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	年度により該当者の有無がありますが、効率的に実施できています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止
	当面の課題	成年後見制度と同時に事業内容の周知を行います。また、今後の対象者の増加も考え、早期に関係機関による法人後見制度を進めてもらう必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	各事業所及びひとり暮らしの高齢者等の方で、必要な方を対象に各種相談の段階で成年後見制度とともに事業の利用説明を行います。また関係機関である阿波市社会福祉協議会に法人後見の実施を要望していきます。					低所得の高齢者に対し、地域支援事業の任意事業:成年後見制度の利用が必要な該当者に対して、申し立ての支援や必要な経費を助成していき、かつ後見人選任がスムーズに行われるよう今後も進めてください。					
委員会指摘事項												